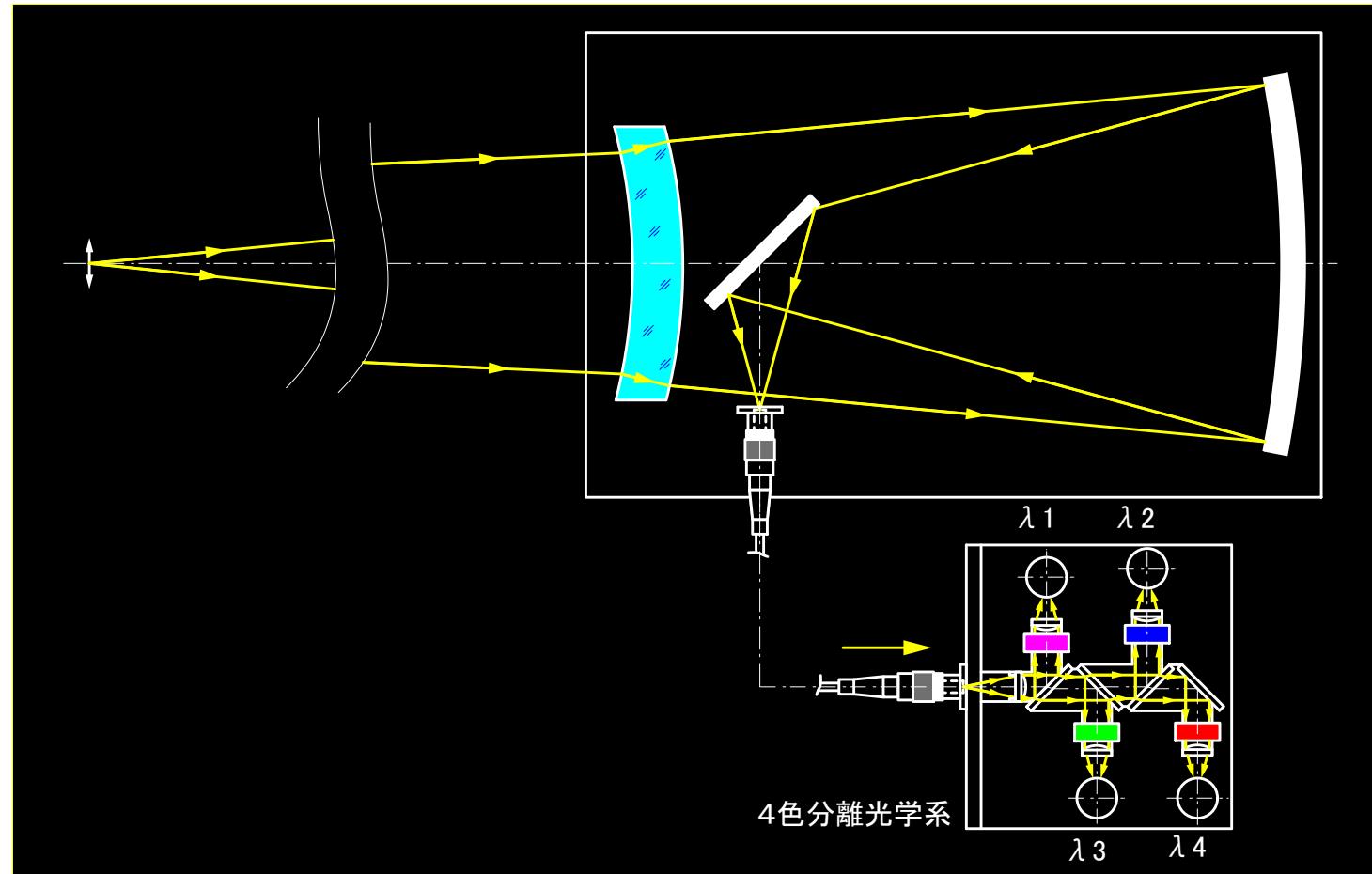
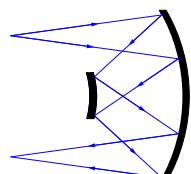


<紫外光対応マクストフ光学系>

- 特徴
- ・光学系の先端部にメニスカス凹レンズを付けた「カタデオプトリック光学系（屈折と反射の両方を利用）」である。
 - ・主鏡（反射鏡）は安価で精度を高くできる球面鏡を使っている点が特徴。球面により発生する収差をメニスカス凹レンズで打ち消している。
 - ・本光学系の焦点距離は、ほぼ球面鏡の焦点距離で決まっている為（メニスカス凹レンズのパワーはほぼ0）、色収差が発生しにくい特徴がある。
 - ・光ファイバに取り込んだ光を例えば「4色分離光学系」に入れて種々の解析に供される。
 - ・メニスカス凹レンズの材質を「石英ガラス」にし、反射鏡表面コーティングも紫外対応するすることで紫外領域でも使用できる。



●改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございますのでご了承ください。



株式会社 オプトメカ エンジニアリング

〒434-0015 静岡県浜松市浜北区於呂3923-10
TEL/FAX: 053-583-0682

Eメール: optomecha_engin@star.tnc.ne.jp